

このまちには、 走りたくなる理由があります。

元茨城県立下館第一高等学校長 川松秀夫 Kawamatsu Hideo



川松さんは、結婚を機に筑西市へ移り住み、高校の生物教師として長く教育の現場に立ってきました。

下館第一高等学校の校長も務め、2020年に退職。その後、かねてからの夢だったJICA海外協力隊として、南アフリカで2年間、理科教育支援に携わりました。

50歳を過ぎてから始めたロードバイクは、今や大切な日常の一部です。

筑西市には川沿いの道が多くあり、桜や菜の花の向こうに筑波山が見える。そんな景色の中を走りながら、元生物教師らしく、鳥や植物に目を向ける時間を楽しんでいます。

仲間と走り、山を登り、時にはラーメン店や餃子店を目指して市外に遠征することも。

昨年は4,700キロを走り、今年は5,000キロが目標です。

「80歳になっても走り続けたい」。そう語る川松さんの姿は、今も前を向いています。

■ 川松さんのおすそわけは、
ロードバイクを始めたい人にアドバイスすることです。

連絡先は、メール：h.kawamatsuv36@gmail.com